

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	卒業研究		
英文授業科目名	Senior Thesis		
開講年度	2008年度	開講年次	4年次
開講学期	通年	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	8
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	H全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>基本的に3年次までになされた人間コミュニケーション学科の講義・実験内容を基礎として、各指導教員の分野に関係する未解決の問題を解くために文献を調査し、知識を整理・体系化するとともに、データ解析、フィールドワーク、実験等を通し、「研究」の基礎を体験することで各分野における方法論を修得することを主題とする。大学での学業の集大成である卒業研究に1年間かけて取り組み、卒業研究を通じて、思考能力・問題解決能力・論理的コミュニケーション能力を身に付けるとともに技術者・研究者としての倫理の自覚を促すことも目的の一つである。</p> <p>適切な文献調査手法、研究の方法論を修得することによって卒業論文を執筆し、そのプレゼンテーションを行うことが卒業研究の達成目標である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
卒業研究着手条件を満たすことが必要である。入学年次により着手条件が異なることに注意してほしい。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
取得単位数が少ないと、通常の授業に時間を取られて、研究にあてられる時間が少なくなりがちである。多めに単位を取得しておくことが望ましい。

【教科書等】
研究室によって異なるので、指導教員と相談すること。

【授業内容とその進め方】

具体的な内容は、研究室によって異なるが、基本的な内容を下記に示す。

1. 各専門分野の基礎知識の修得
2. 卒業研究テーマに関する文献調査
3. データ解析，フィールドワーク，実験，プログラミング等
4. 卒業論文執筆
5. プレゼンテーション

卒業研究では、膨大な量の文献調査が必要であり、また、未知の課題に対してアプローチするため、試行錯誤しながら研究を進めることになる。そのため、自主的かつ時間的余裕をもって研究を進める必要がある。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

9月に行われる中間発表と2月に行われる卒業論文発表会における発表・予稿、および研究をまとめた卒業論文を主な資料として総合的に評価する。

卒業研究テーマの位置付けを明確に理解し、必要な文献調査を行い、適切な手法を用いたデータ解析、実験等を通して自らの新しい知見を得ることによって、卒業論文の執筆および発表を行うことが、合格の達成基準である。

【オフィスアワー：授業相談】

指導員により異なるので、予め確認して相談すること。

【学生へのメッセージ】

研究室配属の段階で、多くの研究室を訪問し、よく考えて研究室を選択すること。

【その他】

なし